

幸区のトウキョウダルマガエル

A Pond Frog *Rana porosa porosa* found in Saiwai Ward, Kawasaki City

岩田芳美・江崎佳章・佐々木聖一郎

Yoshimi Iwata, Yoshiaki Esaki and Seiichirou Sasaki

トウキョウダルマガエル *Rana porosa porosa* Cope は一昔前には水田や湿地に普通に見られた。しかし、冬期乾田の影響で県内から減少し、神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006では絶滅危惧Ⅱ類となっている。また、同書によると、川崎市からトウキョウダルマガエルは絶滅した可能性が高いとされている。

かわさき自然調査団には第5次、第6次、第7次の自然環境調査の間にトウキョウダルマガエルと思われる鳴き声を麻生区黒川、多摩区の生田緑地で聞いたという情報が数件入ってきた。しかしながら確実な情報ではなかった。

そのような時に幸区小倉で生息が確認できたので報告する。

筆者の一人岩田が同じく筆者の佐々木から幸区小倉に造られた広場の池にカエルが棲みついたようだという話を聞いたのは2005年頃だった。その時はアズマヒキガエルと思っていたが、後に江崎、佐々木が調べたところトノサマガエルかトウキョウダルマガエルの可能性が出てきたために、2009年6月1日に江崎、佐々木、岩田、藤間熙子でカエルの確認を行った。

池には♂♀複数の成体がいたが、その背中の黒い斑点が独立し、重なり合わないことからトウキョウダルマガエルと確認した（口絵図7-2）。

当初、トウキョウダルマガエルは人為的な移入と考えたが、この池の造成後の記録に持ち込みの記録が無いこと、池の管理をしている江崎、佐々木にも周辺住民などによる持ち込みの記憶が無いことと、昔は川崎市南部でも普通に見られたであろう種であることから、付近からの拡散も考え建設緑政局緑政部の萩原茂氏に近隣の環境情報の提供をお願いした。

萩原氏によると幸区小倉付近の夢見が崎から操車場周辺にかけては昔から井戸を持つ民家が多く、井戸水を利用した池を持つ家も多いそうで、住民から自宅の池でのカエル生息情報があつたそうだ。

以上のことから、近隣からのカエルの自然拡散の可能性のある川崎市のトウキョウダルマガエルとして報告をする。

なお、現在この池を始めとする付近一帯は市民と行政の協働により保全活動が行われており、池への立ち入りは環境保全の為に禁止されている。

また、地域の個人の情報は個人情報保護の為に公開はできない。

謝辞

ご多忙の中、多くの情報を集めて戴いた建設緑政局緑政部萩原茂氏、調査に同行戴いた藤間熙子氏に心より深く感謝をする。

参考文献

- 新井一政, 2006. 両生類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 : 269-273.
松橋利光・奥山風太郎, 2002. 日本のカエル. 山溪ハンディ図鑑 (9) 191 pp.

著者紹介

- 岩田芳美 特定非営利活動法人かわさき自然調査団 水田ビオトープ班
江崎佳章 さいわい夢ひろば友の会
佐々木聖一郎 さいわい夢ひろば友の会